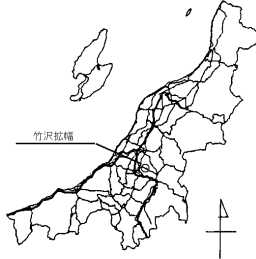
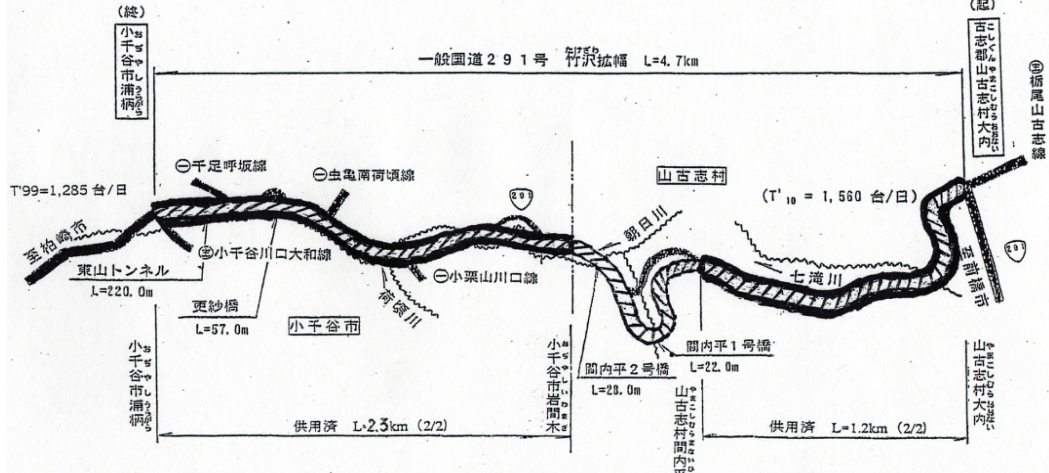


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名： 中島 威夫

事業名 一般国道291号 竹沢拡幅 自：新潟県古志郡山古志村大内 起終点 至：新潟県小千谷市浦柄	事業区分 一般国道	事業主体 新潟県 延長 4.7 km								
事業概要 一般国道291号は、群馬県前橋市を起点とし、新潟県柏崎市に至る幹線道路である。 竹沢拡幅は、幅員狭小・線形不良の隘路区間を解消し、日常生活圏の連携強化、雪や災害に強い道路ネットワーク整備及び個性ある地域形成を図る。										
昭和58年度事業化	都市計画なし	昭和58年度用地着手								
昭和58年度工事着手										
全体事業費	約 71 億円	事業進捗率 88 %								
計画交通量	1,300 台 / 日									
費用便益比 B / C	総費用 (残事業)/(事業全体) 8/14 億円 (事業費：7/13 億円 維持管理費：1/1 億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 15/15 億円 (走行時間短縮便益：14/14 億円 走行費用減少便益：0/0 億円 交通事故減少便益：0/0 億円)								
(事業全体) 1.1 (残事業) 1.8	基準年 平成15年									
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・災害への備え（対象区間が緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけあり） 他 8 項目に該当										
関係する地方公共団体等の意見 山古志村・小千谷市共に早期整備を強く要望している。										
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 特になし										
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在まで用地買収・工事を推進し、3.5kmを部分供用している。										
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 地すべり地形が多く、その対策工事により事業が長期化している。今後は、残事業区間延長1.1kmについて、地すべり対策工事を行いながら今後の事業促進を図る。										
施設の構造や工法の変更等 プレキャスト製品や再生材の活用、建設発生土の有効利用等コスト縮減に努めている。										
対応方針 事業継続										
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。										
事業概要図										
										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 10px; background-color: black;"></td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 10px; background-color: gray;"></td> <td>事業中</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 10px; background: repeating-linear-gradient(45deg, transparent, transparent 2px, black 2px, black 4px);"></td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 10px; background: repeating-linear-gradient(-45deg, transparent, transparent 2px, black 2px, black 4px);"></td> <td>うち供用中</td> </tr> </table>		供用中		事業中		再評価箇所		うち供用中		
	供用中									
	事業中									
	再評価箇所									
	うち供用中									

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

再評価の時点までに事業区間の一部に部分供用があり、事業全体の費用便益分析に変えて、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を実施。